



Wilhelm Furtwängler conducts Schumann & Beethoven

aud 91.441

EAN: 4022143914415



Record Geijutsu (01.10.2017)

Januar 2017 - die Rezension siehe PDF!



■ 初出音源を含むオリジナル・マスターテープからのSACD化

「audite」の「audite」は、ドイツ語で「聴く」という意味。これは、音楽の本質を捉え、それを正確に伝えることに努めること。そのために、録音技術の進歩を常に追いつき、最新の音源を収録し、それを最新の音源から取り出したマスターテープからSACD化して提供している。これは、音楽の本質を捉え、それを正確に伝えることに努めること。そのために、録音技術の進歩を常に追いつき、最新の音源を収録し、それを最新の音源から取り出したマスターテープからSACD化して提供している。

2017.10 Record Geijutsu



■満津岡信育  
初出音源を含むオリジナル・マスターテープからのSACD化

1953年8月26日のルツェルン音楽祭で、1曲目に演奏された《マンフレッド》序曲は、これが初出となる録音だ。フルトヴェングラーは、同音楽祭で計18回のコンサートを指揮しており、その内の16回は、スイスの音楽家たちを中心とした音楽祭のハウス・オーケストラが相手であった。この53年にコンサートマスターを務めたのは、若きミシエル・シュヴァルベである。

VPOとのセッション録音「旧EM」よりも演奏時間はやや長く、ルツェルン

音楽祭管の響きは、名門楽団に比べると淡泊ではあるが、フルトヴェングラー特有の緩急を活かした指揮ふりがしつかりと刻み込まれているのが印象的。アクセントの付け方やフォルテピアノの処理など、この大指揮者が、シューマンのスコアを前にして、どのように味付けをしたかがよくわかる演奏になっている。初出となる放送局のオリジナル・テープを使用しているため、既出の2曲の音質も大幅に改善されている点も嬉しい限りである。



シューマン：《マンフレッド》序曲\*、交響曲第4番、ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》  
ルツェルン（スイス）音楽祭  
録音：1953年8月26日（L）  
[オーディオテクニカ KIGC27～8] CD&SACD  
\*初出音源  
※2017年11月22日発売

2017.10 Record Geijutsu